

高校2年 修学旅行に行ってきました!



10月28日～31日の4日間で、奈良・京都にて修学旅行を行いました。

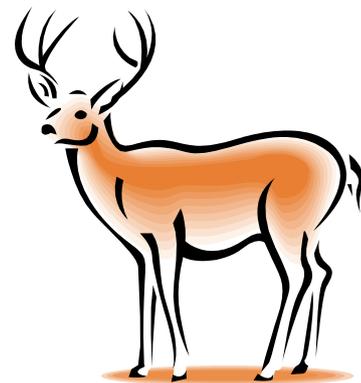
今回はそのうち1日目と2日目についてご紹介します。高校2年生として、いままでの学生生活の集大成となるよう、「再発見」と「芽生え」をテーマに活動しました。

1日目

1日目は新幹線や大型バスなどを使って全員で向かうのではなく、各班生徒たちのみで奈良駅に現地集合をしました。前日から出発し、祖父母の家に行き、友達まで温かいもてなしを受けた人たち。前日にバスで出発し、一晩かかって到着した人たち。そして、新幹線で早朝に出発し、10時半からのチェックポイントに着いた人たち……。さまざまな方法で奈良まで無事に到着しました。新幹線の切符は特急券と乗車券を一緒に入れることなど、引率の修学旅行でないからこそ学べたこともたくさんあったようです。

当日は、秋らしい快晴で、東大寺、興福寺、春日大社、折りしも開催されていた正倉院展などをグループごとの計画にもとづき訪れました。そして、次なるチェックポイントの薬師寺に到着。そこからクラスごとにバスに乗り、一路、吉野へと向かいました。吉野では蔵王堂、吉水神社を見学しました。修験道のダイナミックな力を目の当たりにし、吉水神社では後醍醐天皇や義経、弁慶ゆかりの品を見学し歴史の息吹を感じ取る一日となりました。

夜には、実行委員によるハロウィン代わりの肝試しも行われ、工夫を凝らした演出にわくわく、ドキドキする時間を過ごしました。



2日目

2日目は5つのコースに分かれての活動をしました。
各コースのコース長による感想をご紹介します。

①明日香サイクリングコース

明日香サイクリングコースは、班別で約二時間かけて飛鳥の街をサイクリングして巡りました。橿原をスタートして、飛鳥寺や高松塚古墳、天武・持統天皇陵、亀石などを各班で自由に巡った後、全員で石舞台古墳を見学しました。石舞台古墳では古墳の内部に入ったり、実際に使われていた棺の再現を見学したりしました。

地図を自分達で読んで目的地まで到達するのは難しかったですが、自然豊かな町の中を自転車で走るのは、なかなか都会ではできない事でとても楽しかったです。



②宇治平等院コース

私たちはバスに乗ってまず、平等院へと向かいました。バスを降りて、まずは、鳳凰堂の中へ入り、阿弥陀如来坐像を見学したり、説明を受けたりしました。その後、ガイドの方々ごとに5つに分かれ1グループ10人程度のグループで行動しました。外装は今年の春まで行われていた塗り直し工事の後だったこともあり、とても色鮮やかでした。隣接していたミュージアムにも行きましたが、地下一階と地上一階という、景観に配慮した建物でした。

昼食を食べた後は、宇治上神社へ徒歩で移動しました。神社までの道沿いに、石碑や看板が立っており、ひとつひとつガイドの方の丁寧な説明を受けました。

宇治上神社は、もともと菟道（うじ）という地名から来たもので、手水舎もうさぎをモチーフにしたものでした。鳥居をくぐると、歴史を感じさせる本殿がありました。決して大きな神社ではなかったですが、趣がありました。

最後に源氏物語ミュージアムに行きました。物語のなかでの様子が分かりやすく説明されていました。20分ほどある映画を鑑賞して、終わりました。

平等院や宇治上神社などの世界遺産を見れたり、源氏物語についてもっとよく知ることができ、いい時間が過ごせました！



③平城京と西大寺大茶盛コース

私たちはまず奈良パークホテルで昼食を食べました。お釜に入っていた炊き込みご飯がおこげがついていておいしかったです。他にもお刺身などが小皿に入っていてボリュームがありました。

最初は平城宮跡に行き、朱雀門と第一次大極殿を見ました。塀で囲まれている中には一面に白い砂利が敷き詰められていて広大な土地が広がっていました。その分、朱色の建物がすごく鮮やかに見えました。第一次大極殿には天皇が座る玉座の模型があったり、壁の装飾には四神や十二支が描かれていて、昔は華やかで発展している所だったのだらうと思いました。

次に唐招提寺に行きました。金堂にある薬師如来立像や盧舎那仏坐像・千手観音立像などの巨大な仏像が印象的でした。盧舎那仏坐像は光背に小さい仏像（化仏）がついていて、数は800以上あるそうです。かわいいような怖いような仏像でした。千手観音立像は四方八方に900本以上の腕がのびていて少し気持ち悪かったです。でもどの手も指先まで細かく作られていて、職人の技術の高さを感じました。

最後に西大寺に行って大茶盛り体験をしました。金貨の形をした「開基勝寶」と書かれた西大寺の大茶盛り体験でしか食べられないお菓子を食べました。そのあと、5人で大きな茶碗をまわしてお茶を飲みました。茶碗というより特大サイズのどんぶりのようで、飲んでいる人の顔がすっぽりと収まるほどでした。5人で飲んでいてもなかなか飲みきらず、5周してようやく飲みきりました。重くはじめは隣の人に支えてもらっていても上手く飲めなかったけれど、最終的には一人でも飲めるようになって達成感がありました。お茶も美味しかったしみんなで楽しく飲めていい経験になりました。

このコースは歴史的な建物にも行けて、おなかも満たされる素敵なコースでした！とても充実していて楽しかったです。

④ならまち周辺散策コース



ならまち周辺散策コースでは2人のガイドさんの案内のもと、ならまち、元興寺、十輪院、春日野、春日大社、興福寺の史跡を見学してまわりました。

散策範囲はさほど広くないですが、歴史深い神社や寺院が数多く残っており、限られた時間の中で日本の文化を直に身体で感じることができました。学校の授業や資料集越しでは気づくことができなかった事柄にたくさん触れ、意義のある時間を過ごしました。



まさに“故きを温ねて新しきを知る”そのようなコースでした。



⑤実行委員企画：建築コース

最初にバスで嵐山公園に向かい、到着直後に昼食をとりました。その後徒歩にて渡月橋、天竜寺、竹林の道を廻った後バスに乗り、仁和寺に向かいました。

渡月橋の辺りは紅葉も美しく、そのデザインは周辺の山の景観にとっても合っており、細部の構造はとても繊細で素晴らしかったです。次に訪れた天竜寺は紅葉のピークにはまだ少し早かったのですが、その庭園は野趣あふれる見ごたえのある庭園でした。竹林の道はこのコースの目玉で、道の左右に天に向かって真っ直ぐに伸びる竹が無数に広がり、竹の間から差し込む日の光はより一層京都独特の雰囲気味わわせてくれました。仁和寺は本殿に入ることができ、本殿から眺める庭園と紅葉の相性がとても良く、石庭の真っ直ぐ伸びる直線の砂紋はとても素晴らしかったです。

京都の自然と歴史ある日本文化を満喫することのできるコースでした。

